陳情第8号 証明論文　陳情２番目

この度は、続けてお時間いただき、議長をはじめ議員の皆様方に感謝申し上げます。

陳情書のとおり、新型コロナウイルス感染症を引き起こすとされるウイルス、SARS-CoV2の存在と病原性を証明した科学論文が特定できない状況です。また、無症状の新型コロナウイルス感染者からの他人への感染を科学的に証明した論文も特定できない状況が判明しています。議会におかれましては早急に市や必要機関と協力の元、科学的真実を追求いただき、科学的真実と人道に基づいた政策を行うべく、ただちに新型コロナウイルス感染症に関する対策を再検討するべく陳情しました。

SARS-CoV2はどれなのか、どのような病原性なのか、証明する科学論文が不明なまま、この状況・騒動が続いているのは、「正気」とは思えません。

そんなわけはない！ 2か月近く自粛もした！ この陳情者が狂っているのか？

など困惑すると思います。

そのように思ってしまうことも不思議ではありません。

しかし、厚生労働省が回答しているのです。

配布資料2枚目、右側にありますが、厚生労働省に情報公開請求を行い、一か月待った国民への文書での返答もまた、「忙しくて出せないのでもう一か月待ってください」という内容で、SARS-CoV2の存在の証明書類が出てきません。

感染症対策ということで、国民の生活を制限し、経済にダメージを与え、医療機関の負担を増やし、税金で損害を補填しています。

証明できないウイルスに対するワクチンとはなんでしょう？

何が起きているのでしょうか？

無症状の新型コロナウイルス感染者が他人を感染させるという情報も、科学的根拠がないまま、健康体なのにマスク着用、ソーシャルディスタンス、3密を避ける等の促しがなされています。

人々の生活にこれ程までに影響を与える最重要情報なのに、１年近く経っても科学的に証明した論文が見つからない。

という厚生労働省からの回答があることに疑問を持って当然だと思いますが、皆さんは疑問に思われないのですか？

恐ろしいウイルスが蔓延している、無症状者が感染させる、という情報で人々が混乱に陥り、メディアによる感染者の発表が毎日続いています。

ＷＨＯの発表では、世界でも致死率が通常のインフルエンザ程度とわかっています。

国内の感染者数・死者数が例年のインフルエンザ以下であること、

平均死亡年齢が平均寿命と同じくらいである事もわかっています。10月には、自殺によってコロナの10カ月間よりも多くの日本人の命が奪われています。

以上のことは、本当に医学的、科学的な「死の伝染病」の大流行でしょうか？

SARS-CoV2を証明できないのであれば、ＰＣＲ検査がSARS-Cov2を検出する、ということも証明できるのでしょうか？

どうしてＰＣＲ検査で陽性・陰性の判定をしているのでしょうか？

矛盾を感じませんか？

SARS-CoV2はありますか？

なぜ、厚生労働省に答えがないのでしょうか？

なぜ、国立感染症研究所で登録を削除したのでしょうか？

無症状者から感染するというのは「噂」でしょうか？

なぜ、厚生労働省のホームページで参照される科学論文には、無症状者が感染させなかった研究結果が記載されているのでしょうか？

なぜ、問題があるＰＣＲ検査で診断するのでしょうか？

なぜ、死者数を水増しするのでしょうか？

なぜ、マスコミは追求せず、報道しないのでしょうか？

偏向報道、印象操作は行われていませんでしょうか？

なぜ、コロナに関する事に疑問や異論を唱えると、攻撃されたり、一流の医者や学者も非難や陰謀論者のレッテルを張られるような事が起きるのでしょうか？

なぜ、このような質問を一般市民が議会陳情しなければならない状況になっているのでしょうか？

「正気」でないのは、誰なのですか？

医学的・科学的な感染症の大流行ではないとすれば、政治的な何かが行われているのでしょうか？

科学的でない感染症対策や「新しい生活様式」なるものは、本当に市民に必要でしょうか？

一体何が起きているのか、追求して、公表してください。

そして、それは市民が望むことなのか、国の政策は地方自治体として、地域と住民に適したものなのか？科学的な証明が確認できないことに基づいて行っている対策が、果たして正しいことなのか？その対策が与える影響について、きちんと検証されているのか？後から過剰な対策だったとわかった時、それにより損害を被った人たちに対する責任は誰がとるか？しっかり評価・検討し、適切に対処してください。

純粋に健康と幸せを望む市民のために邁進している流山市と流山市議会の皆様におかれましては、熱心に、沢山の感染症対策を講じていただいていることが、市の広報や議会の一般質問報告書を拝見しても、よくわかります。しかし、一度、原点に戻って、問題の本質はどこにあるのか？真実はなんなのか？立ち止まって、考え直しいただけませんか。まさか！？を疑ってみてください。私達が戦う「見えない敵」は厚生労働省が「ウイルス性の風邪の一種」と示し、一年経っても存在を証明しない新型コロナウイルスですか？「新しい生活様式」はパンデミック前の今年1月に現れた内閣府のムーンショット目標に記載がありますが、関係ありますか？　私たちはアバターになるのですか？　「人が、身体、脳、空間、時間の制約から解放される」目標は狂っていると思いませんか？

強化され続けるコロナ対策が、もし、間違っていたら、ということを疑ってみてください。市民を守るために、と、行った政策が、間違っていたら、どう責任をとりますか？

科学的証拠に基づき、本当の意味で市民の健康と幸せを守る政策を策定し、情報公開し、施行いただきたいと要望いたします。

SARS-CoV2の存在を科学的に証明した科学論文及び、無症状者が感染させることを証明した科学論文を市民に提示すること、

不明な場合は、それを認め、何が正しいかを追求・公開し、

新型コロナウイルス感染症対策としてのマスク着用、ソーシャルディスタンス、3密を避ける「お願い」「ご協力」を含めて見直す決議を採択されることを要望します。　　　　　　　ご静聴ありがとうございました。